

ひき続き茨城の平和運動の中核を担おう！

9月8日開催 第2回茨城県平和委員会理事会報告

第2回理事会は、水戸・青少年会館で、山口常任理事（石岡）の司会で開催され、参加理事は24人でした。事務局から大会以後の具体的な経過報告があり、各地域から補強意見が出されました。

秋から年末のとりくみ

11月前後からそれ以降は総選挙もあるという情勢を受け、私たちのとりくみも臨機の対応を取らざるを得ません。茨城でも全国でも、脱原発の取り組みは高揚しており、今後の大きな課題です。同時に沖縄の「米軍基地撤去」は、オスプレイ配備の問題とあいまって、日本国憲法と安保条約との矛盾がはっきりと提示され、安保条約廃棄こそ根本的な問題解決を示す重要な課題です。

(1) 「平和宣伝活動」、「新聞意見広告」は、脱原発・東海第二原発の廃炉をメインにする。

(2) 全県学習会は、沖縄の基地問題（オスプレイ）を重点にとりくむことが決定しました。

1 全県一斉平和宣伝活動（9月末～10月）は、「脱原発」「東海第二原発の再稼働反対・廃炉に」を内容とし、今年度は県内を5つの地域に分け、宣伝カーによる宣伝を行ないます。事務局では表＝東海第二原発廃炉 裏＝米軍基地撤去・オスプレイ配備反対「チラシ」を作成し、必要な地域に送付します。宣伝カーの借り上げや予約等は、事務局と地域とで連絡を取って具体化します。同時に、東海第二原発の再稼働を許さず・廃炉に」の署名とりくみます。

2 「沖縄基地問題（オスプレイ）と安保」学習会の開催
11月4日（日）、「石岡グリーンパレス」で開催、講師は「内藤功弁護士」です。他団体へも参加を呼びかけ、100人以上の規模とします。地域でもミニ学習会を開催し、「もう基地の苦しみはごめんです」岩国平和委員会発行パンフ（100円）、平和大会パンフ（300円）等を使用します。

3 「日本平和大会 in 東京」は11月23日（金）～25日（日）、東京開催されます。シンポは「日米安保廃棄で見えてくるアジアの平和」、「11の分科会」、「7つのフィールドワーク」を設置しています。事務教は実行委員会を結成し、他団体への呼びかけも強めます。

参加費は、一般＝8,000円・学生・被爆者・戦傷者・障害者＝5,000円・高校生＝3,000円です。各平和の会では参加費やその他の費用を含め、カンパ等で代表を送り出せるよう取り組みます。

4 「平和意見広告」のとりくみ（11月～12月8日）

12月8日（土）の「太平洋戦争開戦の日」、茨城新聞に1ページ大で掲載します。内容は「脱原発」「東海第二原発の再稼働反対・廃炉に」です。賛同者は個人＝1000円 団体＝3000円とします。昨年（個人1,122口 団体137口）を上回る取り組みを進めます。

5 「組織の強化」と「仲間づくり」のとりくみ

毎月5人の新しい仲間を作り出すことを徹底します。各平和の会・平和委員会で月に1人の仲間づくりを意識してとりくみます。「平和学校」を開催し、講師に日本平和委員会常任委員「畑田重夫さん」を迎えます。年内～年明けに、「水戸」・「鹿行」と「土浦」で開催します。「平和学校」をテコに仲間づくりを強化します。

6 その他

①「日本原電事務所前の抗議行動」（水戸アクション）は毎週金曜日 午後6時～7時30分 の時間帯で実施しています。気軽に参加してみましょう。

②9月より、新事務局員として岩間雅美さん（理事・ひたち平和の会）が毎週金曜日・事務局勤務となります。県平和委員会「HPの立ち上げ」と更新。「会員の掌握・名簿の作成と更新」の任に当たります。

前号 No.633 別刷り(夏のパネル展特集)の訂正

「夏の平和パネル展特集」の記事中、つくば市のパネル展について誤りがありました。下記のように訂正しお詫び致します。

●8月4日～8月8日、茎崎ふれあいセンター（茎崎平和の会・新婦人の会茎崎班・茎崎9条の会）

沖縄の空には、オスプレイを飛ばさせない！

『オスプレイ配備に反対する県民大会』

沖縄 宜野湾市 9日に10万1千人



米新型輸送機オスプレイの米軍普天間飛行場(沖縄県宜野湾市)への配備に反対する県民大会が9日、同市の宜野湾海浜公園で開催されました。

参加者は10万1千人(主催者発表)。

大会では「県民はこれ以上の基地負担を断固として拒否する」として、オスプレイ配備計画の撤回、普天間飛行場の閉鎖・撤去を求める決議を採択しました。

主催は、県議会各会派や県商工会連合会などでつくる実行委員会。別に大会を開いた宮古・八重山地方をのぞく全36市町村の代表が出席しました。

オスプレイは、4月にモロッコ、6月に米フロリダ州と墜落が相次いでいまし、9月にもノースカロライナ州で不時着事故を起こしています。

2004年8月に米海兵隊ヘリが墜落した沖縄国際大学3年の加治工綾美(かじく・あやみ)さんが「未来のメッセージ」を読み上げました。

『この沖縄の青い空は、私たち沖縄県民のもので。沖縄の空にオスプレイを飛ばさせない、基地のない沖縄の未来を実現する日までがんばります。』

平和新聞

2012年9月15日（土曜日）

1996号（毎月5,15,25日発行）

1950年12月16日第三種郵便物許可 発行 日本平和委員会
1部140円 月額400円 〒105-0014 東京都港区芝1-4-9 平和会館
(郵送料月額120円) 電話03(3451)6377 FAX03(3451)6277

平和かわら版

平和新聞茨城版

No. 634

2012.9/15

発行：茨城県平和委員会 〒310-0912 水戸市見川5-127-281
Tel/Fax 029-251-2806 E-mail ibahei@amber.plala.or.jp

2011/3/11から1年半

今、福島原発事故の余波は？

【汚染水タンク増設計画】 22万トンから70万トンへ

東京電力は7日、福島第1原発で増え続ける汚染水対策として、タンクの容量を現在の約22万トンから、約70万トンに増やす計画を国に報告しました。これまで約39万トンに増やす予定でしたが、汚染水の増加に対応できないため変更します。

東電の推計では、15年以降には汚染水が70万トンに達する見通しで、タンク増設の「たちごっこ」が続く可能性があります。

福島第1原発では、1～3号機の原子炉冷却で発生する汚染水は放射性セシウムや塩分を取り除き、再び冷却水として使っています。だが建屋地下に地下水が流入しているため、汚染水の量は増え続け、現在の貯蔵量は19万トンを超えている状態です。

「5年は戻れない」と浪江町長

福島原発事故で全町避難

東京電力福島第1原発事故で、全町避難している福島県浪江町の馬場有町長は10日、「今後5年は町に戻れない。『戻らない』のではなく、インフラの復旧整備もされていないので、生活できない状態だ」と述べました。

馬場町長は、国の避難区域再編案について、年内をめどに受け入れる方針を明らかにした上で「低線量の区域でも戻って生活できる状態ではない。原発も安全とは言えず、区域再編を受け入れでも軽々しく避難指示の解除はできない」と話しました。

浪江町は放射線量に応じ「帰還困難区域」「居住制限区域」「避難指示解除準備区域」の3区域に再編される見通しです。



2012年9.30茨城集会

JCO臨界事故を忘れない

原子力事故をくりかえさせない

日時：9月30日(日) 午後2:00～4:00

会場：白方コミュニティセンター

◎ 記念講演・報告・交流

◎ 資料代 500円

◎ 集会終了後、日本原電まで「廃炉を要請する」パレードを行います。(約1Km)

記念講演

3.11 その時女川原発は、地震は？津波は？

命が大切にされる地域づくりを目指して

原発の危険から住民の生命と財産を守る会 事務局長

女川町議会議員 高野博氏

報告

☆福島原発事故から1年半、ふるさとを追われて今

現在いわき市在住 榎葉町からの避難者 金井直子氏

☆東海第2原発は廃炉に

茨城県原発考える会を考える会会長 中村敏夫氏

後援：東海村

主催：2012年9.30茨城実行委員会

(実行委員長 田村武夫茨城大学名誉教授)

試写会のお知らせ

100%再生可能エネルギーシフトへの提言

映画「第4の革命 エネルギー・デモクラシー」

太陽と、風と・大地のエネルギーで暮らしが、世界が変わる！ 世界中で起こる「エネルギー革命」とは？

ドイツを変えたドキュメンタリー映画

世界のキーパーソンが希望ある未来ビジョンを語る。

【シリーズ】 わが街・わが会員

鹿嶋市／木村 行雄さん (鹿行平和委員会)

「今が一番若い！」
の気持ちで



若い時から医療関係の仕事に携わり、45歳ころに病院の事務長を退職しました。5年後、自力で薬店を開業しました。「患者の立場にたった薬店を」との思いで、70歳になるまでの20年間、ただの1日も休まず頑張りました。

小泉首相が「規制緩和」政策を導入してから、個人営業の薬店は経営が非常に激しくなりました。大手薬品販売会社の乗っ取りも激しくなって、破綻する薬店も増えました。幸い私の店は順調でしたが、70歳を潮に店をたたみ、ゆっくりしようと茨城に居を構えました。

いま、憲法改正などが騒がれていますが、憲法には「日本は戦争をしない」「国家間のもめごとを戦争では解決はしない」とちゃんと書いてあります。その部分を改正しよう言っています。「また戦争になったらどんなひどい状況になるのかは、分からないのだろうか？」と本気で案じています。

百里基地反対のたたかいなどの話も聞きました。茨城は保守的な県とばかり思っていたのですが、平和運動にも大きな伝統があるんだなあと思い感動しました。そんな気持ちで平和委員会に入りました。

現在74歳です。11月で茨城に来てから2年目を迎えます。いまは暑いので、毎日早朝5時ころから家庭菜園に精を出しています。「今が一番若い」の気持ちで頑張っています。

日時：9月27日(木) 午後7時開会

会場：茨城県民文化センター小ホール

主催：茨城映画センター

お問い合わせは、茨城映画センター

Tel.029-226-3156 まで

(水戸市栄町1-10-13)

